

第1回 (令和6年1月)

宮津市教育委員会
定例会議事録

令和6年1月25日開会

第1回（令和6年1月）宮津市教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年1月25日（木）午前9時～

場 所 宮津市福祉・教育総合プラザ応接会議室

出席者 山本雅弘 伊藤正 田崎浩二 尾崎里花子 藤井陽子

事務局 大井教育次長 永濱学校教育課長 吉田社会教育課長 東文化財保護担当課長

大槻総括指導主事 森本参事 井上参事 細見指導主事 公庄学校教育係長

（傍聴者1名）

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 会議録署名委員の指名

4 会期の決定

5 教育長報告

6 報 告

報告第1号 養老小学校の府中小学校への再編について

7 その他

(1) 2月の主な日程（教育委員会関係分）について

8 閉 会

－開会： 9:00－

山本教育長

只今から、令和6年第1回宮津市教育委員会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

ご挨拶を申し上げるまでに、はじめに、このたびの令和6年石川県能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災され方々、ご家族や関係者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に、深く敬意を表しますとともに、被災地の皆さまの安全と一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

被災地においては小中学生や高校生が、避難所において、それぞれ避難所新聞づくりや物資の配布など、それぞれの役割を果たしているという報道に接しますと、「頑張っているな。よくやっている、ご苦労さま。」という思いで感動して胸が熱くなるわけですが、一方で、本来なら、それぞれ受験や卒業進学・進級に向けて学校で学んでいる時だろうに、と心を痛めているのは皆さまも同様のことと思います。

改めまして、被災地の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げたいと思います。

それでは、次第に沿って会議を進行します。

■次第2「前回会議録の承認」

各委員よろしければ、田崎委員と伊藤教育長職務代理者にお世話になります。

■次第3「会議録署名委員の指名」

会議規則第18条第2項の規定により、教育長において伊藤教育長職務代理者と藤井委員を指名しますので、よろしく願います。

■次第4「会期の決定」

本日の定例会の会期は、1日としたいと思います。
これにご異議ありませんか。

出席委員

異議なし

山本教育長

ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日間と決定いたします。

山本教育長

■次第5「教育長報告」

【報告事項】

- 1/4の賀詞交歓会のご出席ありがとうございました。
- 1/7に二十歳の集いを開催しました。対象者140人のうち113人の出席があり、80.7%の出席率となりました。男性の出席が多く、女性が少し少ないようでした。二十歳の集いを機会に故郷を改めて見直してほしいと思います。
- 1/22に大谷翔平選手の寄贈グローブが届きました。各小学校に配布し、子ども達が喜んでキャッチボールを行った学校もありました。今週にお披露目をする学校もあると聞いています。

- 元旦に能登で起きた地震に関して、校園長会議でも伝えましたが、能登半島と丹後半島の地形的な状況が、集落が点在している点などよく似ています。平日に学校の登下校中に地震が起こった時、授業中に起こった時を想定して、危機管理マニュアルや防災の手順を改めて確認するよう指示しました。防災教育を徹底し、自分で危険を回避する力、自分の身を自分で守る意識の醸成を図っていきたいと考えています。
- 宮津市からも防災派遣として、七尾市に給水や避難所運営の支援をするため職員が派遣されています。府教委も現地の視察を行い、教育関係での支援を検討していると聞いていますので、また依頼があると思います。教員やスクールカウンセラーなど、子ども達のケアを行う人員が不足しているのではないかと思います。

1 市立幼稚園、小中学校の状況について

- 小中学校、幼稚園は無事に3学期をスタートしました。昨日は大雪警報のため臨時休校になりました。今日は通常どおり登校していますが、雪が多く積もっていますので登下校が心配です。これから受験期に入りますが、インフルエンザの流行なども出てきますので十分な感染症対策をお願いしているところです。

2 養老小学校の再編について

- 12月定例会で議決いただきました養老小学校の再編に関わりまして、その後の状況をご報告させていただきます。

過日ご連絡をさせていただいておりましたように、1/13(土)に保護者と地域の皆さまへの説明会を実施し、市長から令和6年4月に養老小学校を再編することを決定したと発表いたしました。説明会の中では、反対のご意見や賛成のご意見など様々出されました。

その後、新聞でも報じられましたが、1/18(木)に養老小学校区の保護者の方10名の連名で、城崎市長と教育委員会教育長宛に「養老小学校再編に関する要望書」が出されました。内容は、お手元の資料にありますのでご覧ください。

また、京都教職員組合から京都府教育委員会に対して、「宮津市立養老小学校の統合を性急に進めないよう宮津市教育委員会に指導助言することを求める緊急要請書」も申し入れられたとのことです。

このように、令和6年4月の再編を撤回せよという保護者の方や与謝教組からの要望をいただいております。この要望については、市長に報告し協議しましたが、要望やご意見を受け止めつつ、引き続き、令和6年4月の再編に向けて、ご理解をいただけるよう努めながら、子ども達が安心して学べるよう、再編に向けてしっかりと取り組んでまいります。

現在、養老小学校、府中小学校では、教育委員会と連携しつつ、再編に向けて期間も短い中ではありますが、子ども達や保護者の皆さまの不安等の解消に努めるとともに、再編にご理解をいただけるよう様々取り組んでいるところです。

3 その他

- 本日、午後2時から宮津市総合教育会議を予定しています。教育振興基本計画の進捗状況など今後の重点、不登校児童生徒への支援について、文化スポーツ関係について協議を行う予定とし

ておりますので、よろしく申し上げます。

以上、報告といたしますが、委員の皆さまから、ご質問、ご意見がありましたら申し上げます。

伊藤教育長職務代理者

養老小学校の再編につきましては、前回の定例会において全員賛成で承認したところです。北部の小中学校の再編については再編計画はありましたが中断をされていて、この1、2年で動き出しました。この間、丁寧に説明され、保護者との意見交換がなされてきました。この経過があった点は重要だと思います。

教育環境について、教育の方向性として、人の意見を聞いたり、話し合ったりということが求められていますが、今の体制では十分に出来ないと感じます。確かに、教員の目は行き届くとは思いますが、人数的に教育効果が出せるのか、例えば、遊びの中でも、大縄跳びなどはできませんし、あまりにも少ない人数では育てられないものがあります。運動会も皆で一緒になってする競技はなかなかできません。やはり一定の人数が学習面においても精神面においても大切だと考えます。

以前、伊根町の小学校に勤務していた時に閉校を経験しました。教員も子どもと一緒に統合先の学校に移りました。不安はありましたが、統合後は子どもも保護者も、良かった、楽しいという声があがりました。令和6年4月で再編を進めていただきたいと思います。

田崎委員

大谷選手のグローブが届いたとのことで、私たちも見てみたいと思います。ショーケースに飾るのではなく、ぜひ使っていただきたいと思います。

養老小学校の再編について、小学校の間はどう育つのかを考えてみますと、大規模校と小規模校でどちらも良い面があると思いますので、大小を論点にすると平行線になると思います。子どもは、喧嘩をしたり、色々なことがあって成長し、いろんな人の意見を聞いて心が育っていくと思います。中学校から橋立中学校に行くわけですが、急に大きな学校になって不安があるだろうと思います。中学校でいきなり大きな学校に行くよりも、早くに小学校から慣れていく方が良いのではないかと思います。中学校は勉強が中心になり、それだけでも大きな変化ですし、子どもは環境への対応が大変です。

地域のコミュニティとして、学校がなくなるのは寂しいという気持ちもよくわかりますが、やはり子どものことを第一に考えるべきではないでしょうか。大人が子ども達のことを第一に考えて、どうするのが一番子ども達のためになるのかを判断しないとイケません。再編の話は平成28年度から出ていましたし、これで1年遅れてしまうと、また1年子どもが犠牲になってしまうと思います。令和6年4月からぜひ再編を行っていただきたいと思います。

尾崎委員

子どもは環境の中で育つと思います。少人数では少ない意見しか聞くことができませんし、子ども達がベストな環境で育つようにしていただきたいと思います。

大谷選手のグローブは、何かセレモニーはされるのでしょうか。

細見指導主事

大谷選手のグローブは学校ごとにお披露目会を行うこととしています。いただいたグローブは、野球が未経験の子ども用のグローブで、

これから野球を始めようという子ども達に向けたものだと思います。右利き用が2つ、左利き用が1つです。児童会を中心にお披露目会をしたり、キャッチボールをした学校もあるようです。宮津小学校は1/26にお披露目会をすると聞いています。

藤井委員

先日、宮津中学校で行われた平田オリザ先生の授業を参観しました。中学生が大人しいと感じましたが、1回だけの授業ではなく、回を重ねていくことでコミュニケーションが活発になると良いと思います。こうした授業も、やはり人数が必要だと感じました。

二十歳の集いに出席しましたが、ここでもやはり、小さいころからの同級生が大切だなと感じました。みんなが元気に学校生活を送れると良いと思います。

伊藤教育長職務代理者

二十歳の集いの案内について、市内に住民票のある方にしか届いていないのでしょうか。市外の方は、どうされていますか。

吉田社会教育課長

広報みやづで、市外の方で参加希望がありましたら連絡してください、と呼びかけを行っています。

藤井委員

二十歳の集いの案内状が届くのが遅いと聞きました。保護者は色々準備もありますので、もう少し早い時期に送付をしていただきたいです。

吉田社会教育課長

案内状の発送は例年どおりの時期に行っています。広報誌では11月号に掲載をしていますが、式典の中身を詰めるのに時間がかかるため、どうしてもその時期になっています。

山本教育長

式典の内容は未定でも、案内の第1報は早めに送る方が良いのではないかと思います。また改善をしていきたいと思います。

今回の式典では、外国人の方にも案内をさせていただきました。出席はいただけなかったようですが、日本の伝統行事でもありますので今後も案内をしたいと思います。

それでは、報告に移ります。

■ 6 報告

報告第1号「養老小学校の府中小学校への再編について」事務局から説明をお願いします。

永濱学校教育課長

宮津市教育委員会基本規則第17条の2第1項第1号の規定により委員会へ報告を行うものです。

教育長報告にもありましたが、12/19に日ヶ谷・養老地域の方に協議の経過を報告し、「再編の決定は市が行うべき。」「令和6年4月に養老小学校を府中小学校に再編するという市の決定を支持する。」とのご意見をいただきました。これを受けまして、先月の定例会で委員の皆さまにもご承認いただき、再編を決定することとし、1/13に市長も出席のもと、保護者と地域の方々に、再編の決定についてご説明しました。

その後、資料を添付しておりますが、養老小学校区の保護者10名の連名で市長と教育長宛に「養老小学校再編に関する要望書」を、また与謝地方教職員組合から教育長宛に「宮津市立養老小学校統合の撤回を求める緊急要請書」を、京都教職員組合から京都府教育委員会教

育長宛に「宮津市立養老小学校の統合を性急に進めないよう、宮津市教委に指導助言することを求める緊急要請書」が提出されました。また、統合については、新聞でも取り上げられたところですが。

こうした要望やご意見について真摯に受け止めさせていただき、引き続き、令和6年4月の統合に向けて、ご理解をいただき、保護者や児童の皆さんの不安等を解消できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上、簡単ではございますがご報告させていただきます。

山本教育長

この間の経過をご報告させていただきました。引き続き、養老小学校、府中小学校と連携しながら統合に向けて取り組んでまいりたいと思います。

永濱学校教育課長

■ 8 その他

◆ 次回教育委員会日程

- 定例会 2月20日（火）午後1時30分～
- 臨時会 2月28日（水）午前9時～

山本教育長

他になければ、第1回宮津市教育委員会定例会を閉会します。ありがとうございました。

－ 閉会： 10：00－